

桜梅桃李

大島町立第一中学校

2 学年 学年通信

R4.6.1 第 17 号

進路講演会

5 月 28 日（土）に進路講演会がありました。今年度の進路講演会は、講師の彦坂雄一郎さんから、セルフプロデュースや、キャリアを積み上げること等についてお話いただきました。少し難しいと感じた人もいたと思います。しかし、それぞれに心に響いた言葉や話があったのではないのでしょうか。お話を聞いて、私が特に心に残ったことを皆さんにお伝えしたいと思います。

うさぎとかめ

「日本人はカメである」という話になるほどと思いました。効率よくルールを変えながら先に進んでいくウサギ（欧米や中国）に負けないようにするためには、ただ真面目に取り組むだけでは追いつけない。自分で考え、周りに発信する力が今の日本人には必要なのです。そこで彦坂さんが教えてくださったのが「セルフプロデュース」でした。自分をどう見せたいか、社会の中で自分が活躍する場をどうやって作っていくかというお話でしたが、それは皆さんが決めたクラス目標、「個性の伸長」に通じるのではないかと思います。まず自分の個性や強みをよく理解し、伸ばしていくことで、自分が何者になれるのか、自分の輝ける場所がどこなのかが見えてくるのではないのでしょうか。そう考えると、彦坂さんの話も少し身近に感じるができると思います。ぜひ、「セルフプロデュース」の一步として、自分の強みや個性について考えてみてください。



◎ 2 年生の皆さんの真剣に話を聞く姿勢や積極的に質問に行く姿勢、素晴らしかったです。

キャリアについて

「career」の語源は、ラテン語で「馬車が通った後にできる轍（わだち）」という意味があり、過去に歩んできた道のりや今、見ている風景、その先に続く未来が「キャリア」なのだそうです。彦坂さんからはキャリアを重ねるうえで出会った人からの「信頼」が大切であるというお話がありました。その「信頼」を得るためにできることは難しいことではなく、嘘をつかない、目の前のことに一生懸命取り組むことといった当たり前のことでした。しかし、当たり前のことを実践することは実はとても難しいのかもしれません。学歴や職業の経歴もキャリアですが、広い意味では自分の行いの積み重ねです。そういう意味では、中学生もキャリアを積み重ねている途中ということになります。「キャリアなんて先のこと」と思わず、彦坂さんのお話を聞くことができたラッキーな皆さんには、今回の講演会で学んだことをこれからの生活に生かしてほしいと思います。